

KIS 国際物流ニュース！（2018年12月号）

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



港湾での貿易関係手続の完全電子化 国交省が官民推進体制を立ち上げ

2020年をめどに港湾での貿易関連の手続きを完全に電子化する！という記事が新聞に掲載されました。対象となっているのは荷主やトラック、倉庫などの業者間のやり取りのペーパーレス化。非効率な手入力やそれによる作業ミスでの手続き遅れの解消を目指します。国交省 港湾局と内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室が、港湾の電子化（サイバーポート）推進委員会を立ち上げ「港湾関連データ連携基盤」を構築します。業者間のやり取りがその基盤を通して行うことになり、荷主や陸運業者はその基盤へのI/F（インターフェース）を検討する必要があると考えられます。

情報が円滑に流れると、物（もの）が滞りなく移動し、金（かね）が流通し、人（ひと）の業務、ドライバー不足や港湾物流の業務負担が軽減され働き方改革につながると思います。

BMW 中国の外資出資規制緩和 初の承認

中国政府はこれまで認めていなかった外資の自動車メーカーの合併会社への過半出資を容認する方針を打ち出しました。ドイツの自動車メーカーのBMWグループの合併会社がその第1号となりました。

BMWのハラルト・クリューガー社長は「中国事業を強化する」と発表会で発言しています。BMWにとって中国は本国ドイツを上回る世界最大のマーケット。米国工場生産されたSUV（多目的スポーツ車）が関税を引き上げられ値上げをせざるを得ないので、中国での生産能力を高め、中国の巨大なマーケットで売ることにしたようです。かつて安い労働力が魅力で中国生産していましたが、今の中国は巨大マーケットであることが魅力です（1990年に7億5千万人いた極貧人口が2015年には1千万人に減りました）。BMWのように中国の中産階級向けに舵をきるのは当然です。

通関士様必見！ 商品確認支援パッケージ（on eBASE）

通関士の皆様、いろいろ様々な多様な課題を感じておられると思います。

HSコードの実績管理、商品確認書・絵型の管理等、これらの作業に手間がかかり時間がかかって仕方ない。荷主の情報を毎回ダウンロードする作業や、通関士毎に割り振るHSコードが違い非効率といったこと、税関提出（商品一覧等）の作成に多大な時間をかけている等々…。

「商品確認支援パッケージ」は、情報の入力、管理、出力を、商品管理DB(データベース)を中心に一気に効率化を図ります。

商品確認支援パッケージは下記URLから

<https://www.kisnet.co.jp/2018/08/10/759/>